

報道関係各位

大塚食品 群馬工場 CO₂フリー電力を採用**40%以上のCO₂年間排出量削減に貢献****国内4工場(釧路・群馬・滋賀・徳島)すべてでCO₂フリー電力の導入を完了**

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)の子会社である大塚食品株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:白石耕一)は、このたび群馬工場^{*1}にてCO₂を排出しない再生可能エネルギーに由来する「CO₂フリー電力」を導入しました。これにより同工場のCO₂年間排出量の約44%にあたる約1,400トン/年が削減される見込みです。

また、群馬工場での導入より、当社4工場(釧路・群馬・滋賀・徳島)すべてで「CO₂フリー電力」の導入が完了し、工場のCO₂年間排出量の約25%にあたる約5,600トン/年が削減される見込みです。

地球温暖化対策の国際的な枠組みであるパリ協定では、温室効果ガス排出量削減等に関する世界共通の長期目標が掲げられました。気候変動への対応が、グローバルで取り組むべき課題となるなか、CO₂を含む温室効果ガスを排出しない「再生可能エネルギー」導入の動きが拡大しています。

大塚グループでは、環境への取り組みにおけるマテリアリティ(重要項目)を「気候変動」「資源共生」「水資源」と特定し、「気候変動」においては、「2030年にCO₂排出量30%削減^{*2}」を目標に掲げ、CO₂排出量の低減に積極的に努めています。

今後も燃料転換などによるエネルギー利用の最適化と最大化を進め、グループ会社間の協働による相乗効果を発揮し、脱炭素社会の実現、ひいてはサステナブルな社会の実現への貢献を目指して取り組んでまいります。

*1 群馬工場は東京都心から100km圏内となる群馬県南部の佐波郡玉村町に2003年7月17日設立され、まるごとダイズ飲料スゴイダイズなどの紙パック製品を製造しています。

*2 当社グループ2017年比。国内および国外のCO₂排出量が対象

会社概要

大塚食品株式会社 (Otsuka Foods Co., Ltd.)

設 立 : 1955 年 5 月 19 日
資 本 金 : 10 億円
代 表 者 : 代表取締役社長 白石 耕一(しらいし こういち)
本社所在地 : 〒540-0021 大阪市中央区大手通 3-2-27
従 業 員 数 : 432 名 (2020 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 食品・飲料の製造、販売、及び輸入販売

大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd)

設 立 : 2008 年 7 月 8 日
資 本 金 : 816 億 90 百万円
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 CEO 樋口 達夫(ひぐち たつお)
本社所在地 : 〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地
従 業 員 数 : 111 名 (2020 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 持株会社